

議会&地域活動SNS発信!



さいたま国際芸術祭



メイン会場の旧おおみや市民会館はノスタルジックな雰囲気を生かした素晴らしい展示でした。

さいたまクリテリウム



自転車レースを間近で観戦。魅せ方次第ではもっと有効活用できるはず。勿体無い!

地産地消



別所沼公園で開催しているParkマルシェでさいたま産の野菜を購入。とっても新鮮で美味!

避難所開設訓練



担当の浦和大里小学校の訓練に防災アドバイザーとして出席。備蓄倉庫や表示の確認など。

公共空間活用の実現



武蔵浦和駅前の小さな公園。私は民間主導の公共空間のイベント活用等を推進しています。

Follow me!!!

ほぼ毎日SNS更新中



Instagram @sato_manami_1



X (旧Twitter) @satomanami_1

令和6年1月8日(月・祝)から さいたま市のホームページがリニューアル!

見づらい! わかりづらい! 探しやすい! という声が多かったさいたま市のホームページがリニューアルされました。1月15日からはAIチャットボットも導入します。また、あらゆる利用者にとって文字が読みやすくなるようにUDフォント(ユニバーサルデザインが反映された書体)も採用されました。UDに関しては私自身も保健福祉委員会で質問したり、今後も追及していくべきさいたま市の課題の一つと考えます。誰もが使いやすくわかりやすいサービスを提供することは市政に不可欠です。皆様もぜひ新しいホームページをご利用いただき、使い勝手などのご意見ご要望をお聞かせください。



使ってみてねさよ

<https://www.city.saitama.lg.jp/>



佐藤まなみのさいたま市議会活動報告

#無所属新人議員日誌

武蔵浦和地区義務教育学校設立と沼影市民プールについて

さいたま市議会12月定例会で、武蔵浦和地区義務教育学校設立と沼影市民プール廃止に関する議案、そして、ようやく**プール代替地確保のための予算が組み込まれた一般会計補正予算議案**が、いずれも**賛成多数で可決**されました。

▶私は、本会議最終日の採決前に討論(議案に関する意見)に登壇し、賛成の立場で討論しました。

討論の内容は、**今まで反対を表明してきた私が「ほぼ反対の意見を言いながら賛成をする」と**いった苦しい内容でしたので、議場や傍聴席からの大きなヤジはある程度想定内でした。

本会議最終日の討論詳細は動画をご確認ください(スタートから58分頃登壇)▶▶▶



▶今回の採決態度において会派内でのしごらみがあったとか、何らかの外的圧力があつたからなどは一切ありません。全て自分で考えて導き出した結果であり、批判や厳しいご意見覚悟のうえでの表明です。また、私は“議会のルール上では賛成か反対かしかないのだから、退席はあり得ない”という政治スタンスです。退席は議会の判断としてカウントされませんから、棄権と同じと思います。また、「〇か×だけじゃなく△があっても良いのでは?」と思う方もいるかもしれませんが、個人的な意思表示であっても、そもそも執行部(実際に事業を行う部署)は「事業をやるか・やらないか」しかないのですから、曖昧な結論は意味をなさないという考えです。

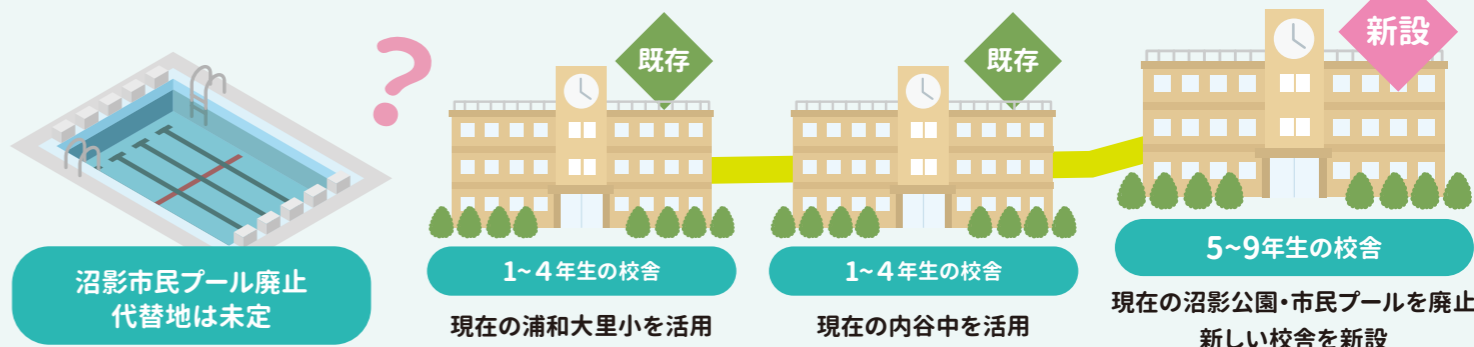
中面に続く▶

どんな事業? 何が課題?



令和10年開校予定 武蔵浦和地区義務教育学校とは

人口過密化地域・児童数増加見込みの武蔵浦和地区の課題規模校の解消と、学校教育のさらなる質の向上のために設立される義務教育学校(9年間の小中一貫教育)です。既存の浦和大里小学校・内谷中学校を活用した1年生から4年生が通う2校舎と、沼影公園と沼影小学校の土地を一体的に活用して新設する5年生から9年生が通う新校舎の3校舎で1つの義務教育学校とします。約3700人の生徒が通う、全国でも大変珍しい公立の義務教育学校であり、また長年の間多くの市民から愛されてきた沼影市民プールや公園の廃止もしなければならず、子どもたちだけではなく、多くの施設利用者にも影響が出てきてしまいます。現在、開校に向けて様々な準備が行われていますが、不安や疑問の声は少なくありません。



沼影市民プール廃止 代替地は未定

1~4年生の校舎 現在の浦和大里小を活用

1~4年生の校舎 現在の内谷中を活用

5~9年生の校舎 現在の沼影公園・市民プールを廃止 新しい校舎を新設

発行責任者

さいたま市議会議員 南区選出 佐藤まなみ
事務所 〒336-0027 さいたま市南区沼影1-2-4-202号室
info@sato-manami.com

市政に関するご意見ご要望等を
左記までお寄せください。

POINT① なぜ反対をしても市政は変わらないのか

私は市が主催の学校説明会や沼影公園廃止の説明会、市民の方々が主催の勉強会にも参加しました。事業担当の執行部とも何度か計画の確認をしました。執行部からは課題に関しては「検討中」との回答しか得られませんでした。こんなに混乱を招いている事業なのだから、まずは一旦事業のストップをかけたいと思い、今年議員になって初めての6月定例会一般質問に臨みました。その際、さいたま市からは「この学校設置は複数年議論を重ねて導き出した唯一の最善の策であり、再考は不可能」という強い否定の答弁をいただきました。確かに、さいたま市ではこの議案に関する報告や質疑が令和3年2月の予算委員会や同年6月の一般質問に出てきていますし、平成30年発行の「第2期さいたま市教育振興基本計画」にも詳細ではないですが義務教育学校の計画が明記されています。

長年推し進めてきた事業をひっくり返すのは容易ではない

議案を調査するにあたり、議会側の視点と市民側の視点ではこんな違いがあることに気付かされました。

度々表に出てきていたにも関わらず、それでも誰も止められずに、とうとう沼影市民プールの廃止や解体、義務教育学校の実施設計まで来てしまいました。
(※当時の議事録や資料は議会HP上でも閲覧可能です)

▶反対運動の存在は、さいたま市もちろん知っているはずですが。市民から広く意見を募るパブリック・コメント制度は「市民から意見を聞きました」という既成事実づくりでしかないようにも思えてしまいますが、そもそもさいたま市のパブリック・コメント制度のルールを皆様はご存じでしょうか？

さいたま市パブリック・コメント制度要綱

制度要綱 意見の処理 第7条の2 に定められており、**必ずしも意見が反映されるものではありません。**



ここまで事業が進んでしまう前に課題を明確にし、本気で廃案や一旦停止をするように動いた人間はいたのか

これらが必要だった！

反対意見を言うだけ
反対表明だけでは
執行部も議会も
動かない。

関わってきた人々が行動
せざる負えない程の
圧倒的な説得力と感情論
ではない根拠が必要。

議会を動かすには
議会内全体を取りまとめ
なければならない。

しかし、残念ながら、私が知る限りでは今回の事業に関して過去に議会でこのような動きは確認できませんでした。では今後、どうしていくべきなのかを私なりに考えた結果を次のページでお伝えします。

この事業に対して佐藤まなみが何を考えどう動いたか

市民側からの意見

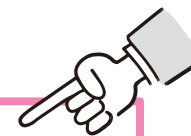
そもそもこの義務教育学校がこの地区に必要なのか？利用者の多い市民プールを廃止することへの違和感。

6月定例会の一般質問

学校説明会や公園廃止の説明会に参加。学校設立の意味の確認と代替え案検討の余地の有無を自ら確認。

そして、現在

追加の手立てがされないまま事業が進んでしまうことより、今置かれた環境の中での最善策を選択。



POINT② 反対しても変わらないのなら

議会や執行部と調整ができないのなら、このまま反対をしても今のところ何も変わりません。粛々と事業が行われていくだけです。

執行部は何年も前から義務教育学校開設のための準備をしてきたため、一旦立ち止まることや、ましてや廃案なんて考えられないことでしょう。

しかしながら、**行政は行政のためにあるのではなく、市民のためにあるのです。**私は今回の討論で述べた通り、ここまで問題を複雑化させてしまった**今までの事業の進め方(見せ方・魅せ方・伝え方)にも問題がある**と考えています。複雑化させない工夫と配慮が必要です。



一方で、この事業に関して多方面から様々な指摘がありますが、実は執行部は市民からの声を全く受け止めていないわけではありません

例えば...



▶沼影公園の室内プールの代替えの浦和大里小学校でのプール新設については、決して褒められることはありませんが、整備のための予算がアップしています。なるべく市民からの要望を叶えようと努力しているのは一定程度理解できますし、工事でひと夏は学校プールが使えなくなりますが、新しく屋内プールになることで、今後は天候関係なくプールの授業が可能になるでしょう。屋外プールの代替地は未定ですが、ようやくこの度予算が組まれたので、執行部は今まで以上に必死に探すはずですが。(本当はもっと早く取り掛かって欲しかったですが...)

▶また、学校開設準備委員会が立ち上がったことで、保護者の皆さんや地域の皆さんが抱える不安や疑問の解消に向けて動き出しています。まだまだ課題点がありますが、改善や解決に向けた努力がやっと垣間見えるようになってきたこともあり、私は賛成に転じてこの事業に**今以上にもっと現実的に向き合いたいこうと決意**しました。**事業が遂行されてしまう中での最善策、それが今回の議案への賛成であり、予算の執行なのです。**



市政はAIが行っているわけではありませんし、人間同士が協力して成り立っています。時にはお互いが分かり合えないこともあるでしょうし、どうしても許せないことも出てくると思います。私は、そんな時もしっかりと市民と行政をつなぐパイプ役・調整役として皆様に活用していただける議員でありたいと思っています。